



## 新春を祝して

病院長 大森勝壽



を遅くし、子孫のために資源を残してやるよう心掛けて行きたいものです。

昨年は「偽」が横行しましたが、何故騙し合わなければならぬのでしょうか？

平支が猪から振り出しのねずみに替わりました。皆さん明けましておめでとうございます。

平成も二十年を迎えたが、私のような老人には二十の数字は、昭和二十年を連想します。戦後から、わずかに八〇数年しか過ぎていないのに、世の中が目まぐるしく変わり、本当にこれで良いのかと、心配するのは歳のせいでしょうか。

世の中便利になる事は歓迎しますが、その代わり環境破壊という代償を払わなければなりません。わずか半世紀の間に、私たちは地球資源を乱掘・消費し、その結果、地球温暖化で、世界の平均気温が年々上昇し、大規模な山火事や、洪水と言った自然災害が増えていきます。京都議定書からCOP3へと少しは進展したのですが、未だに机上の論争で、先進国と途上国の思惑による温度差があり、実行には至っていません。自然を元に戻す事は出来ませんが、せめて破壊の進度

せる原動力になると思います。医療費の抑制を目的にした改正では、国民すべてが望んでいる医療の質の向上は望めませんが、政策については、国政に参加できる人にお願いし、此處では論じません。

翻つて、今年病院が取り組むべきこととして、機能評価の更新と特定健診・特定保健指導の導入があります。

機能評価については、昨年十二月に更新の申請書を提出しており、六月の最終段階に向かふ皆さんの取り組みに期待します。その中でも特に医療の安全に対する取り組みは重要で、リスクマネジメント委員会の活動については職員全員の理解と協力が必要ですので宜しくお願いします。

また、特定健診・特定保健指導についても、健管センター皆さんの活躍を期待するのですが、初めての試みなので、十分なPRと自ら研鑽が必要です。

今年の病院目標は、「笑顔・親切・寛容」とします。医療人は如何なる場合でも、優しく親切でなくてはなりません。そして笑顔を持って接し、慈愛に満ちた心で全てを受け入れる広い視野に立った人間になつて頂きたいと希望し設定しました。このような目標のもとに、どうぞ本年も、希望に満ちた生きがいと働き甲斐のある年でありますように祈念します。

國は、人口減少、超高齢化社会、経済低迷などから、医療費をこれ以上高騰させては日本の経済が破綻するとして、医療費削減、病院減らしにかかりています。医療は國民にとって「最大の安全保障」であり、安心・安全を考えた健康・医療こそが教育とともに日本を支え、発展さ

## 新年を迎えて



副院長  
有壁 譲

明けましておめでとうございます。

昨年は、総理大臣の政権投げ

出し、商品の偽装改ざん問題、

さらには肉親による凶悪事件頻

発など、無責任で信じがたい報

道が相次いだ一年でした。そん

ななか松坂投手メジャーリーグ

一年目の活躍のニュースには、

心踊らされた方も多かつたので

はないでしょうか。

当院を振り返りますと、地方

の医師不足の影響で、常勤医が

不在の科や足りない科への医師

補充がまったく進まない一年で

した。このため受診される皆様

にとつては、不十分な予約診療

や長い待ち時間などでご迷惑を

おかけしております。そのよう

な中、わたしたちは全職員一丸

となり、少しでも満足のいだだ

ける医療を提供したいと努力し

てまいりました。一つには、よ

り安全な医療を提供するための

新たな安全システムを作り、そ

れが徐々に効果を出しているこ

になってきたことです。手前味噌といわれますが、このような変化を皆様方もすこし感じていただいているなら嬉しい限りです。

今年も医療における安全対策と接遇の問題は、継続発展させてまいりますので、ご期待下さい。

正月から嬉しい報告があります。待ちに待った皮膚科の先生が赴任いたしました。病院の機能不全が一つ解消したことになります。おおいにご利用いただきたいと思います。さらにこれからもこのような朗報が続いてほしいと願い、一層努力してまいります。

今年は、五年前に取得した「病院機能評価機構認定病院」の更新の年になります。昨年から全職員をあげて準備をすすめているところで、なんとしても合格する事が地域の皆様の役に立つと考え頑張っております。

社会保険病院の存続に関しては、

まだ不透明な部分はあるものの、

よい形で決着がつきそうです。

そうなればこの地域の皆様やわ

れわれ職員にとりまして、大変喜ばしく安心できる事となります。

さてこの四月から高齢者の皆

様に新たな保険料負担が発生す

る保険制度が始まります。われ

われ病院も診療報酬の度重なる引き下げにより、大変苦しい運

営を強いられております。お互いが政府の医療費抑制策の犠牲者であり、つらい状況は続きますが、二本松病院はこれからも皆様の視点に立った良質な医療を提供いたします。

今年もどうぞよろしくお願ひを申し上げます。

## 新年に当つて



事務局長  
猪狩 明

新年おめでとうございます。

昨年は「やるべき五つの課題」を掲げ取り組んでまいりましたが、そのうちの大きな課題であります「社会保険病院の整理合理化」については、いまだに方針が示されておりません。

今年十月には政府管掌健康保

険が社会保険庁から全国健康保

険協会に移行することが法律で

決まっており、府は福祉施設事

業である社会保険病院を運営す

ることが出来なくなります。府

は、専門家会議を設置しその議論を踏まえ整理合理化案を策定する方針であり、今年の早い時

期に決定されるものと思われます。

私達は、平成十四年十二月に

出された厚生労働省の方針に基

づいた経営改善三ヶ年計画に引き続き、その後も経営の安定化

を行なうため経費の削減を中心とした経営努力を続けた結果、一定の成果をおさめています。昨年十二月にバージョン5での更新手続を終えておりますが、今まで更新もありお礼を申し上げますとともに引き続きのご協力をお願いいたします。

さらに、「地域に重要な病院」であります、地域に大きな病院がない、病床数が少ないといった短絡的なことではなく、病院がない、病床数が少ないと

院がない、病床数が少ないと

いたします。

これらも職員一丸となっての成果も職員一丸となっての成果を出し上げます。

今年もどうぞよろしくお願い申します。

さらに、「地域に重要な病院」

であります、地域に大きな病

院がない、病床数が少ないと

いたします。

これらも職員一丸となっての成果も職員一丸となっての成果を出し上げます。

二つ目は、七月に期限切れとなる「病院機能評価機構認定」の更新であります。昨年十二月にバージョン5での更新手続を終えておりますが、今まで更新はありません。

さらに、「地域に重要な病院」

であります、地域に大きな病

院がない、病床数が少ないと

いたします。

これらも職員一丸となっての成果も職員一丸となっての成果を出し上げます。

さらに、「地域に重要な病院」

であります、地域に大きな病

院がない、病床数が少ないと

いたします。

## 看護の質向上をめざして



看護局長  
富永 昭子

新年あけましておめでとうございます。

看護目標である病院機能評価更新の重さをビシビシと感じながら新たな年を迎えました。

昨年の四月から、看護局長としてまた医療安全管理者の一人として病院の実状把握に努め、良きところは活かし、改善すべきところは改善の努力をしてまいりました。めまぐるしい九ヶ月を振り返り、外部からの私を、院長・事務局長はじめ職員の皆さまが暖かく迎え入れてくださったことに、心から感謝いたしております。

看護師も一職員として経営状況を知り、節約に努めることも必要なことですが、私達にもつとも期待され求められているものは、看護の質の向上であると理解しております。診療報酬の改正に伴い、病院を取り巻く環境は年毎に厳しいものとなり、看護師の業務内容は想像以上に複雑で多様化している現状です。さらに、安全で安心の看護の提供として、時間とマンパワーと技術のほか、倫理と人間性が問

われています。

当院は、地域性から高齢者の割合が非常に高く、患者様ご本

人に治療やケアのご理解を頂くことにも、安全にケアを実施していくことにも時間とテクニックを要し、日々その努力をしております。高齢者を理解する研

修、技術を向上させるための研修、人間性を高める研修など、多くの研修を実施しました。そして、職員が同様に研修

参加をし、自己啓発に努めました。そして、職員が同様に研修

内容を活かせるよう伝達講習も実施いたしました。今年は、多忙な中にも看護師自身が研修効果を実感し、自分の看護に質の向上を感じて欲しいと願っております。

そして、地域の皆様が退院後の生活支援に安心と真心が感じられるよう、早期から退院支援に取り組んでいく必要を感じております。入院された患者様には必ず担当の看護師がおり、入院から退院まで責任を持つて関わりあうことが役割としています。担当になつた患者様にどんなケアが必要なのか、また、退院に向けてどんな支援が可能なのか、患者様が納得できる最良の支援ができるよう“暖かさ”を伝える努力をしたいと思います。

医師や他職種間だけでなく、ご本人やご家族との連携を重視し、その人らしい生活支援で質の向上と信頼の医療につなげたいと

思っております。

今年も、どうぞ宜しく御願い致します。

## 今年もよろしく



老健施設副施設長  
高野 弘一

皆様、明けましてお目出とうございます。輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は間も変らず悲惨な事件・事故等暗いニュースが多くありますけれども、サンビューラー松木においては大変な快挙を成し得た年でした。一つは十一月開催の日本社会保険医学会において「老健におけるターミナルケア」の体制づくりと題し、渡辺ゆき介護福祉士が発表、見事学会賞を受賞しました。

毎日利用者の皆様を介護看護する中で気付いた事、又は改善を模索しながらこつこつと研究し勉強し毎年数例の発表していることが今回の受賞に繋がったものと思います。職員の努力に敬意を表するとともに今後も続けて行つてほしいと思います。

二つ目は平成九年五月の開設以来、十周年を迎えたことです。これは関係各位の皆様、地域の利用者及び、ご家族のご理解とご協力によるものであると思いま

ます。しかしながら医療・福祉を取りまく状況そして当施設にとつても大変厳しさを増すと思われます。制度的に後期高齢者保険の導入、療養病床の介護老人保健施設への移行問題等があります。最近は、国の財政上の問題から医療・福祉の切り捨てに直結している様な気がしてなりません。

利用者の皆さんに選択の中が増えるのは良い事ではあります。が、当地域においても昨年暮れ

ます。制度的に後期高齢者保険の導入、療養病床の介護老人保健施設への移行問題等があります。最近は、国の財政上の問題から医療・福祉の切り捨てに直結している様な気がしてなりません。利用者の皆さんに選択の中が増えるのは良い事ではあります。が、当地域においても昨年暮れ

には特養が、そして今年には新たに介護老人保健施設が開設されます。私達はこの様な中にあつても当施設の理念である「生命の尊厳性を尊重し生きがいを感じる看護・介護の提供」のもと、利用者の皆様が安全で安心してご利用いただけるよう、そして地域の皆様から信頼される施設づくりに努力して行かねばならないと考へております。今年も宜しくお願い申し上げます。

### 【栄養課より】

## ためしてレシピ！



### スパゲッティ漁師風 (ペスカトーレ)

今月は、魚介類を使い、“磯”的香りを楽しむスパゲッティを紹介いたしますので、是非、お試しください。

#### \*材料 4人分

スパゲッティ	320g
イカ	1尾
アサリ	200g
エビ	小12尾
タコ(スライス)	200g
オリーブ油かサラダ油	適量
にんにく(みじん)	2片
赤唐辛子	1本
白ワイン	少々
塩・こしょう	少々
パセリのみじん切り	適量

#### \*作り方

- イカの皮をむいて縦に3つ割りにし1cm幅位に切っておく。アサリは砂抜きをしておく。エビは頭と殻を取り、竹串で背わたを取る。
- スパゲッティをたっぷりの湯に塩を加えて茹で上げる。
- スパゲッティの茹で上がり時間を見ながら、鍋にオリーブ油・にんにく・赤唐辛子を入れ熱し、イカ・アサリ・エビ・タコを加え炒め、白ワインを入れて、アサリが開いたら、茹で上がったスパゲッティを入れて和え、塩・こしょうで味を調え、皿に盛り付け最後に、パセリのみじんを振りかけて出来上がり。

# 年男・年女

看護師 尾崎 純

新年あけましておめでとうございます。  
また、また、また年女。

二周目のときは、小学六年生。なんだ  
かとつてもお姉ちゃんになつた気分だっ  
たなあ。

三周目のときは、二本松病院に就職し  
てきた年。新しい職場に期待と不安を抱  
きながら、毎日ワクワク・ドキドキして  
いたなあ。

早くも四周目。まだまだ、発展途上。  
あつという間の毎日の中で、自信を持つ  
て出来る何かを見つけて行きたいな。  
経理係主任 立花勝敏

明けましておめでとうございます。

今年は十二支の初め、子年ということ  
で、鼠に関することわざを少々。「時に  
遇えば鼠も虎になる」時運にめぐり合え  
ば、力の弱い者でも勢いを得る事ができ  
るという事ですが、その為には、「鼠が  
塩を引く」目立たなくとも毎日の努力の  
積み重ねが必要、という事でしょうか。  
それにもしても、世界で一番有名なあの  
ネズミのいるテーマパーク、最近行って  
ないけど、今年こそ行きたい!。本年も  
よろしくお願い致します。

臨床検査技師 相川 功

## ICT委員会活動報告

薬剤部長 小島 信嘉

昨年のICT委員会での活動は、ICD(Infection Control Doctor)の畠山外科部長や事務の佐藤君の新たな加入により、更に充実した1年であった。月1回のラウンドを含めた定例会は、院内での問題点や課題を検討しながら多くの活動を展開してきた。その主な内容は、以下のとおりである。

- ①2本入りセッジの単包化
- ②感染防止のためアクアパックの導入
- ③標準予防策用ディスポ製品セットの配置
- ④3月のミニ学会発表「手指衛生に関する調査」
- ⑤感染対策ニュースの再発行(月1回)
- ⑥カルバペネム系抗生剤・ニューキノロン抗菌薬使用報告書の導入
- ⑦廃棄物分別の統一化
- ⑧採血時手袋着用の徹底化
- ⑨職員抗体化調査とB型肝炎ワクチンの実施
- ⑩グリッターパックを使った手洗い実験
- ⑪血流・尿路感染サーベイランス(発生動向監視)の実施
- ⑫手術手洗い時の感染管理について畠山医師の職員講演
- ⑬手術室手洗い方法の変更
- ⑭マニュアルの改訂に向けた取り組みなど改善や実施に向けた取り組みを行った。その甲斐もあってか、院内におけるアウトブレイクが全くなかつたのは幸いである。しかし言うまでもなく感染管理は、職員全員が感染に対する正しい認識を持ち、その対策を指示通り同じく励行することが必須条件となる。99人の職員が100%実施できてもたった一人の職員ができなければ、院内感染は発症しうるのである。今年も油断することなく、安全な感染管理が実施され、患者様が安心した入院生活が送れるよう職員皆様の理解と協力をお願いしたい。

また、前の年男から十二年間を振り返  
つてみると一番変化したのは自分の体重  
で、四十歳目前となりメタボリックシ  
ン。若連生活も終わり、今年からは自分  
の健康管理にも気を配りながらがんばっ  
ていこうと思います。

ドロームが気になり始める年となりまし  
た。若連生活も終わり、今年からは自分  
の健康管理にも気を配りながらがんばっ  
ていこうと思います。

健康管理センター  
管理部長 遊佐義一

新年明けましておめでとうございます。  
今年で五回目の年男を迎えることに  
なり、誕生日が来ればもう六十歳なん  
だなーと、しみじみ思いを巡らせな  
がら病院の当直室で新しい年を迎えた  
した。

今年もよろしくお願いします。

気持ちはまだまだ若いとは思つてい  
ても、体がついていかないとか物忘れ  
が結構多くなりつくづく年を感じてき  
ております。しかし、今年も公私共に  
とにかく忙しい一年になりそうなので  
気を引き締め、気持と格好だけは若さ  
を持ってこの一年を乗り切ろうと思つ  
ております。年男として勤務できる最  
後の年、昨年同様よろしくお願ひいた  
します。

看護師 本多ヒテ子	(12/23)
業務係長 斎藤 武彦	(12/31)
採用 明	(1/4)
育児休業	

## 庶務だより

健康管理センター  
看護師 本多ヒテ子

退職

業務係長 斎藤 武彦

健康管理センター  
看護師 柳堀 浩克

前進 展望

皮膚科医師 柳堀 浩克

改善 改革

今年の目標

笑顔・親切・寛容

猪狩 明



編集後記  
「暑くてたまんなな」とぼやいていたのがつい先日のようになります。今は寒さにはやいでおります。光陰矢の如し、サーキロイン肉の如し。年を取るのも早くなるものですね。それはさておき、晴れやかな新年を迎える皆様方は、年末のラストスパートをかけていた姿を忘れないでください。光陰矢の如し、サーキロイン肉の如し。年を取るのも早くなるものですね。

たかもしれません。(自分を含めですが)。でもご安心を、物は考え方です。新年を迎え、あと十二ヶ月ある、という考え方も必要です。ともあれ「余裕」をもって何事も行動し良い年にしましょう。